

第4章

施策No.

4-3

景観の形成

▼政策目標

4 人々が集う魅力ある便利で安全なうわじま

▼施策

4-1 計画的な土地利用の推進

4-2 市街地の整備

4-3 景観の形成

4-4 住宅施策の推進

4-5 道路・交通網、港湾の整備

4-6 情報化の推進

▼施策の内容

4-3-1 市街地の文化的景観の形成

P172

▼主要事業

景観形成事業

4-3-2 遊子水荷浦の段畑の保存・管理・活用

P173

歴史的景観形成事業

4-3-3 津島地区岩松の伝統的な町並みの保存整備

P173

歴史的景観形成事業



3 景観の形成

施策の方針

美しく個性的なまちづくりとうるおいのある豊かな生活環境の創造に向け、景観計画の策定のもと、地域固有の景観の整備・保全を進めます。

現状と課題

良好な景観は、美しく風格のある国土の形成とうるおいのある豊かな生活環境の創造にとって不可欠なものであり、自治体においても、地域の自然や歴史・文化等の調和によって形成された地域固有の美しい景観を、住民共通の財産として整備・保全していくことが求められています。

本市は、西国の伊達領として栄えた歴史を持つ歴史ロマンのまちであり、歴史的・文化的景観に恵まれているとともに、「耕して天に至る」といわれる段畑を有するなど、独特の景観を形成しています。

このような中、本市では、景観条例の制定のもと、城山周辺の景観保全に努めてきたほか、平成17年には国の景観法に基づく景観行政団体となり、景観行政の担い手として具体的な施策を実施する景観計画区域の設定等を進めています。

計画区域の景観形成にあたっては、農業や漁業等の地域産業の活性化を図りながら、景観を構成する建築物や工作物等を適切に誘導し、地域が一体となって景観形成を進めることが重要です。

特に、計画区域となっている遊子水荷浦の段畑は、自然と人間の生活の中でつくられた独特の景観であり、地域の財産として適切に保護することが必要です。また、津島地区岩松においても、明治から昭和初期を中心にした古い町並みが残っており、その保存・活用が求められています。

● 施策の内容

4-3-1 市街地の文化的景観の形成

重点
プログラム⑦

景観条例や屋外広告物条例に基づき、市民及び事業者の意識啓発を図りながら、市街地を中心とした歴史文化と共生する個性的で美しい都市景観の形成を進めます。

主要事業

景観形成事業

4-3-2 遊子水荷浦の段畑の保存・管理・活用

重点
プログラム⑦

段畑の保存・活用と農林水産業など地域産業の活性化の視点に立ち、段畑を中心に集落や養殖イカダが浮かぶ海域も含めた範囲を対象に景観計画を策定し、地域一体となった景観形成を進めます。

主要事業

歴史的景観形成事業

4-3-3 津島地区岩松の伝統的な町並みの保存整備

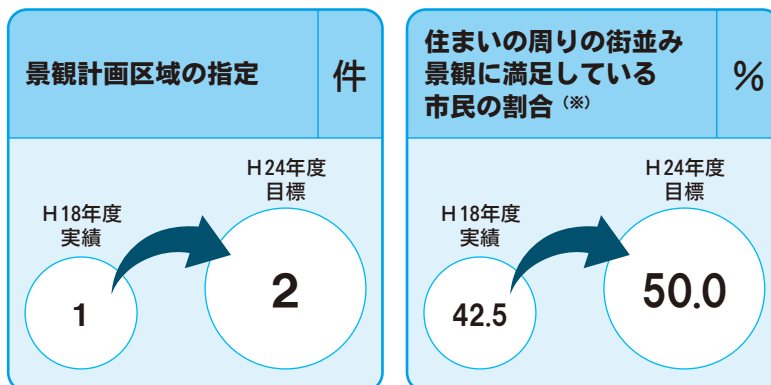
重点
プログラム⑦

伝統的建造物群保存地区の指定に向け、町並み保存地区とその周辺地域も含めた広い範囲を景観計画区域に指定して景観計画を定め、岩松の古い町並みの保存に努めます。

主要事業

歴史的景観形成事業

● 成果指標



注) (※) の市民の割合(実績)は、平成18年6月に行った住民アンケート調査の結果による。

ほ ほう だい あと 砲台跡 かた い しん 語る維新の かい めい し 開明史

砲台跡



外国艦船が日本近海に出没しはじめた幕末の頃、宇和島藩は藩主伊達宗城の富国強兵策によって、嘉永3（1850）年、愛南町久良湾に高野長英の設計による砲台を築き、安政2（1855）年には樺崎に、元治元（1864）年には戎山に砲台を築きました。慶応2（1866）年、来航した英国艦隊に礼砲を撃ったことが、外交官アーネスト・サトウの日記に記されています。

ま ま か も 真っ赤に燃える ゆう ひ 夕日がきれいな きた なだ わん 北灘湾

北灘湾



宇和島市の海岸部は、複雑に入り組んだリアス式海岸の変化に富んだ景観が特徴です。北灘湾は津島町の北西に位置し、古くは、天然のイワシ漁が盛んに行われていました。現在は鯛やハマチ、真珠の養殖が盛んになっています。日没頃には、波静かな入り江と海に浮かぶ生簀いけすが夕陽に紅く染まり、美しい景色が楽しめます。また、磯釣りの絶好のポイントとして愛釣家に親しまれています。